

教育文化

人が育ち文化の息づく古河をつくる

●学力向上のための取り組み

・英語教育の推進 **拡充**

市内小学校が英語教育の教育課程特例校(英語特区制度)に指定されたことにより、ALT(外国語指導助手)を14人から20人に増員し、小学1年生から6年生まで週1時間の英語活動を実施します。

※詳しくは7ページを参照。

・小学校ICT機器の活用

学力向上を目的にICT機器(タブレット端末)、デジタル教科書等の教育用ソフトや投影機等を活用した授業を展開します。

●茨城国体開催に向けた運営準備・競技の支援

平成31年度開催の茨城国体に向け、実行委員会等を設置し、大会運営の準備や大会PRを行います。また、開催競技の綱引と少林寺拳法について、競技の普及促進とチームの育成を図ります。

●(仮称)三和地域交流センターの建設

平成30年9月の完成を目指して、老朽化した三和公民館を解体し、新たに(仮称)三和地域交流センターを建設します。平成29年度は本体工事を行います。

●中央運動公園陸上競技場の改修 **新規**

中央運動公園陸上競技場を公認競技場として維持するため、トラック等の改修工事と備品の整備を行います。



▲陸上競技大会のほか、運動会など毎年多くの行事で使用される陸上競技場

産業労働

活力と賑わいのある古河をつくる

●若者・子育て世帯への定住促進奨励金交付

企業誘致等に伴う若者・子育て世帯の転入者に対し奨励金を交付し、古河市への定住を促進します。

●企業誘致の推進

市の産業の振興と雇用機会の拡大を図るため、指定地域(工業地域、工業専用地域ほか)に条件を満たす製造業の工場を立地した企業に「企業立地促進奨励金」を交付し、企業進出の支援と関連企業の誘致に取り組みます。

●銘柄産地育成への支援

農協、生産者団体と協力しながら、産地のPRや銘柄農産物の加工による高付加価値化に向けての取り組みを支援します。また、平成29年度から専門家を活用したブランド化を推進します。



▲昨年は、茨城県のアンテナショップ「茨城マルシェ」でトウモロコシなど新鮮野菜をPR

●ふるさと納税制度の活用

ふるさと納税制度を活用し市の物産等を広くPRするとともに、販売促進を図ります。

